

1. 長期成長ビジョン

貴金属リサイクルのトップ企業として循環経済の担い手となるべく、既存の事業基盤を強化するとともに新分野の開拓と一層のグローバル化を推進し、企業価値をさらに向上させることで環境課題の解決に貢献していく。

長期成長ビジョン（目指す姿・ビジネスモデル）

■ 目指す姿：環境と社会をつなぐ循環経済の担い手

当社の事業領域は、現代社会が直面する二大課題「循環経済の構築」と「カーボンニュートラルの実現」に正面から取り組むものである。当社事業の発展を通じて、社会課題の解決に貢献していく。

1. 戦略主題①：収益性を高める事業基盤強化

既存事業の収益性向上を図り、持続的成長を実現する。設備投資を通じて新技術の導入、デジタル化を積極的に推進し、生産性を向上させ事業基盤を強化する。

2. 戦略主題②：貴金属事業の新分野開拓

半導体や水素エネルギー市場の伸長に伴い、今後需要の増加が予想される白金族元素(PGM(※))分野を開拓し、成長分野に焦点を当てた事業の展開を強化する。
(※)PGM: Platinum Group Metalsの略で白金族元素の総称。

3. 戦略主題③：一層のグローバル化推進

アジア・北米の海外拠点の事業推進を一層強化することに加え、東南アジアでの貴金属リサイクル事業の強化、新たな国・地域での事業展開を模索する。

会社全体の売上成長目標（～2031年3月期）

- 売上高成長率+0.8%（2025年3月期比、年平均）
- 売上高増加額+237億円（2025年3月期比）

外発的動機

- 地球温暖化や気候変動の問題等、地球規模での環境課題が叫ばれているところであり、特にCO2削減はグローバルレベルで最重要課題とされている。当社技術を用いた貴金属リサイクルの方法によれば、鉱山採鉱による方法と比較してCO2排出量は90%以上削減することが可能であり、**当社事業の発展は、地球規模の環境課題の解決に直接貢献**するものである。
- 貴金属はあらゆる分野の製造工程で不可欠な材料として使用されており、成長市場である半導体市場や水素エネルギー市場の伸長に伴って**需要量も拡大していくことが確実**視される。
- 一方で、こうした貴金属は産出量が少なく、希少性を有するものである。また、ロシアや南アフリカ等、地政学的リスクの高い国が主要産地となっているものもあり、供給が不安定にもなり得る。当社は、貴金属リサイクルの立場から**安定供給の一翼を担い、科学技術の発展にも寄与**し得る立場である。

内発的動機

- 当社のパーパス(存在目的)として「**この手で守る自然と資源**」を掲げており、創業以来70年以上にわたって一貫して貴金属リサイクル事業を手掛け、環境問題に向き合ってきた歴史がある。
- 東証プライム市場に上場している立場から、社会の公器として企業価値を継続して向上させ続ける責務を果たす必要がある。
- 創業以来、貴金属リサイクルというテーマは一貫しながらも、時代の変化に合わせて扱う分野・事業のスクラップ&ビルドを繰り返して成長を続けており、「挑戦しよう」の歴史を今後も紡いでいくことが企業価値の向上、社会課題の解決につながると考えている。

2.補助事業の概要

既存工場の設備増強により需要拡大に対応するとともに、新元素への対応設備を新設することにより生産性向上と新市場への進出を図り、資源循環の立場から安定した資源を供給することを通じて世界の発展に寄与する。

補助事業の
背景・目的

- 特に今後の需要の伸長が見込まれる白金族元素(PGM)についてケイパビリティの拡張を行うべく、基幹工場である茨城県坂東工場にPGM精製棟を建設する。
- PGM精製棟建設に伴い、処理能力の増強が求められる中間精製を担う各工場や試験分析機能を担うテクノセンターの設備を増強するとともに、各拠点に生産性向上効果をもたらすシステム関連投資を積極化し、製造工程全体で生産能力の増強と生産性向上を図る。

事業費
(補助額)

6,167百万円
(1,911百万円)

設備投資の
内容

拠点	投資額	投資概要	投資目的
茨城県坂東工場	4,855百万円	設備増強 PGM精製棟建設	最終精製機能の強化
兵庫県テクノセンター	441百万円	設備増強	試験分析機能の強化
兵庫県尼崎工場	300百万円	設備増強	中間精製機能の強化
長野工場	150百万円	設備増強	中間精製機能の強化
福岡工場	450百万円	設備増強	中間精製機能の強化
各拠点	1,837百万円	設備増強に応じた システム構築	業務効率化・ 生産性向上

【投資の狙い・効果】

- 希少金属のリサイクル能力増強により、世界の発展に必要な資源を提供し続ける。
- PGMを国内工場でリサイクルすることにより、資源の輸入依存を解消する。
- 環境に優しい水素エネルギーの利用促進を資源循環の立場から支える。

茨城県坂東工場_イメージ

第2期(済)

第1期(済)

PGM精製棟
(第3期)

目標値

項目	2028年3月期 (基準年度)	2031年3月期 (事業化報告3年目)
労働生産性 (単位：万円/人)	3,059万円/人	3,736万円/人 (年平均上昇率+6.9%)
従業員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	652万円/人	787万円/人 (年平均上昇率+6.5%)
役員1人あたり給与支給総額 (単位：万円/人)	-	- (年平均上昇率+6.5%)
補助事業に係る従業員数 (単位：人)	548人	542人